

第17回 永井隆 平和賞 作品募集

三刀屋町多久和の出身で、放射線医学の研究と原子爆弾により白血病におかされながらも「長崎の鐘」や「この子を残して」などの名作を著し、「如己愛人」、「平和を」の願いを全世界に訴え続けた“平和の使徒”永井隆博士の精神を21世紀を担う世代に伝え、人類普遍のテーマに取り組む機会と出会いの場を提供し、明るい日本の未来づくりに期するため、下記のとおり永井隆平和賞の作品を募集します。

【募集内容】 「愛」と「平和」に対する考えやメッセージを表現した作文および小論文

[小学生低学年(1～3年)の部] 作文...400字詰め原稿用紙2～3枚

[小学生高学年(4～6年)の部] 作文...400字詰め原稿用紙2～3枚

[中学生の部] 作文.....400字詰め原稿用紙3～4枚

[高校生の部] 小論文...400字詰め原稿用紙4～5枚

[一般の部] 小論文...400字詰め原稿用紙4～5枚

【募集期間】 平成19年7月1日(日)～7月31日(火)【当日の消印有効】

【応募方法】 応募用紙に、①題名、②郵便番号、③住所、④氏名(ふりがな)、⑤年齢、⑥電話番号、⑦部門名を明記して、作品と一緒に以下へ郵送

〒690-2404 島根県雲南市三刀屋町三刀屋199番地

永井隆記念館内 第17回島根県雲南市「永井隆平和賞」係
なるべく所定の応募用紙(ホームページに掲載)をご利用ください。

応募後の作品変更は出来ません。

応募作品は返却しません。

応募作品の著作権は主催者に帰属します。

【その他】 部門ごとに最優秀賞(1名)、優秀賞(1名)、佳作(若干名)を決定します。

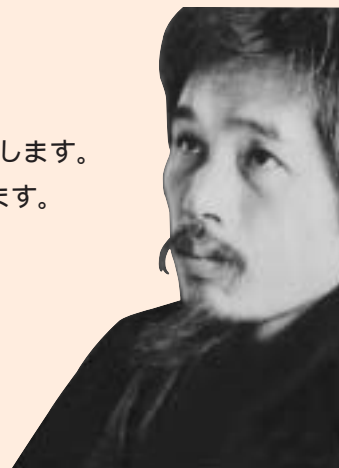
発表式典を9月10日(日)、三刀屋文化体育館アスパルにて開催します。

詳しくは、教育委員会生涯学習課にお問い合わせください。

☎0854-40-1073、FAX0854-40-1029

E-mail shougaigakushu@city.unnan.shimane.jp

詳細を雲南市ホームページ <http://www.city.unnan.shimane.jp/>
にも掲載しています。



編

集後記

「横長の文が読みにくいので、2段組みにしてはどうか?」との意見をいただきました。読んでみると、なるほど、言われるとおり読みにくい。行が変わるときに、元の行の頭に返ったり、一行飛ばしてしまったり。このような点は少しずつでも改善していきます。ご意見をお寄せください。

6月といえば、やっぱりホタル。右にも挙げたように、観賞バスが運行されるなど、初夏の風物詩です。ホタルが、まさに命を懸けて、一生懸命に飛翔する姿には心動かされます。

儂くも幻想的な光を眺めながら、もうひとつ思うことがあります。それは、毎年ホタルが舞う環境が守られているということです。私が学生のとき(10数年前)、実家の前の川ではほとんどホタルを見かけなくなっていました。最近、その川に再びホタルが舞うようになりまし

た。「環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり」が実践され、ホタルが帰ってこられるくらい水がキレイになったからだと勝手に分析しています。毎年6月にホタルが眺められるように、できることに取り組んでいきたいと思

います。

季節ごよみ

6月9日と15日の両日、ほたる観賞バスが運行されました。ちよっと寒かったけど、神楽を見たり、ほたるを見たりと、楽しい夜のひとときが過ぎました。



ほたる観賞バスに乗って

・市報うんなんは、お近くの総合センターや公民館にもあります。
・市報うんなんに対するご意見、ご感想はこちらまで!

政策企画部 情報政策課

unnan-city@city.unnan.shimane.jp

人口 44,965人 男性・21,687人
世帯数 13,622世帯 女性・23,278人
(平成19年6月1日現在)